

みつぐ苑だより

2010 夏号

発行：平成22年8月
発行元：介護老人保健施設 みつぐ苑

共に支え
共に生きる

私たちは地域社会の一員として
ご利用者とご家族のかたわらで
尊厳を守り、自立支援・在宅支
援を誠心誠意行います。



みつぐ苑 2010 夏まつり

～出会い・ふれあい・みつぐ苑～

みつぐ苑 夏まつりへの多数のご参加 誠にありがとうございました

7月31日土曜日に、14回目となる苑最大のイベント「みつぐ苑 夏まつり」を開催いたしました。当日は大変暑い中にもかかわらず、ご利用者ご家族様に加え、地域やボランティアの方々など合わせて300名以上もの皆様にご来苑いただきました。

今年は、浴衣姿で参加された方も多く、例年以上に華やかな雰囲気となりました。

苑内では、ステージを中心に、地元の西里太鼓クラブの勇壮な演技をはじめ、ギター演奏やたくさんのボランティア様や職員の踊りや歌なども披露され、楽しい舞台となりました。

また、屋外では焼き鳥や焼きそば、ゲームなどの屋台も出され、多くの人々で賑わいました。

今年も多くの方々のご協力とご支援により、ご利用者ご家族様、そして地域の皆様やボランティア様と笑顔で楽しくふれあうことができました。これもひとえに皆様のおかげと感謝しております。皆様ありがとうございました。



盆踊り



理事長
津野田 誠



施設長
津野田 尚子



フラダンス



西里太鼓様



中央ギターアンサンブル様



梅后流江戸芸かつぼれ様



熊本音楽療法研究会様

ステージ

ボランティア様、職員による楽しいステージが繰り広げられました。



ストリートダンス



よさこいソーラン節



アロハ



福引き



▲ 理事長賞が当たりました！

ご利用者・ご家族・来賓・ボランティア様全員参加の▼大ジャンケン大会!!



ジャンケン大会!

食くて美味しい屋台が大盛況!!

屋外・屋台



みんなでパチリ

完売御礼

皆様の美味しそうなお顔をみて、幸せな気持ちになりました。たくさんの方々のご来苑、ありがとうございました。



ボランティア活動紹介

第14回の夏まつりが盛大に行われました。来苑者総数 307 名、その中で 95 名の方々がボランティア活動に参加くださいました。心より感謝申し上げます。

前日は、力仕事である会場の設営を吉永産業の方にお手伝いいただきました。

当日は、イベントボランティアとして5団体（梅后流江戸芸かっぼれ様、キューピット様、熊本音楽療法研究会様、中央ギターアンサンブル様、西里太鼓様）に参加いただき、楽しく素晴らしいステージを披露していただきました。

ステージ裏で音響に携わっていただいたり、暑いなか外でお手伝いをしていただいたり、さまざまな分野の裏方としてご利用者様のご家族や学生ボランティア様など、約 60

夏まつりのボランティアご協力
ありがとうございました!!



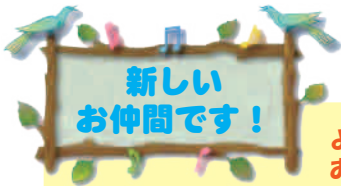
お疲れさまでした！

名の方々にご協力いただきました。

おかげさまで今年も多くのご来苑者に恵まれ、盛大にとり行うことができました。

本当にありがとうございました。

（ボランティア委員会）



よろしく
お願いいたします



筑前琵琶熊本旭会
きょくほう
小島 旭 賢 様
《音楽会・琵琶演奏》



おやま
小山 敬子 様
《お話し相手》



けい
福山 慧 様
《学生ボランティア》

■ボランティア様（4月11日～8月10日）

＜落 語＞・三遊亭 恋生様

＜音楽療育＞・小林真寿子様
・立山真由美様
・平成音楽大学学生様

＜折り紙教室＞・三浦 順子様
＜書道教室＞・大堂喜三子様
＜化粧療法＞・ポー化粧品様
＜交流会＞・五丁保育園様
＜日本舞踊＞・かっぼれ様
・和(なごみ)の会様

＜踊 り＞・吉永フラスクール様
・ラプリー大窪様
・日本念仏踊りの会様
・キューピット様

＜音 楽＞・うらた 剛様（演奏・歌）
・小島 旭賢様（琵琶演奏）
・斉藤 文吉様（カラオケ）
・渋江 孝夫様（ハーモニカ）
・西里太鼓様（和太鼓）
・ピエロの会様（マジック・ギター・歌）
・さつき倶楽部様（ハーモニカ）
・コールソレイユ様（コーラス）
・サクラソボの会様（ピアノ・歌）
・岩本スチールギター教室様（音楽演奏）
・中央ギターアンサンブル様（音楽演奏・マジック）

＜お話し相手・行事参加＞

・雨森 亮子様・砂原 博子様・中島 洋子様
・小山 敬子様・丸尾 英子様（花壇や畑の手入れ）
・福山 慧様（学生ボランティア・熊本保健科学大学）

＜そ の 他＞・山鹿バナナのたたき売り保存会様



滝本泰三先生率いる
サクラソボの会様



なおこDr.の

クローバー通信

～診療所ダイアリー～



Vol. 11

「最期の時」について

診療所院長

津野田 尚子



私もみつぐ苑に勤務して8年目になりました。その間、社会でも高齢化はますます進み、昨今、現場でも本格的に高齢社会へ突入している事を実感します。中でも患者さんとの永遠の別れや看取りの機会にはそのご年齢の高さを痛感しています。そして、その度ごとに、大切な最期を本人らしくどう過ごすかについてご家族やスタッフと悩みます。

何故悩むのでしょうか？ それは、

- ①どこでどのように死を迎えるかについて、その場になってからでは、本人の希望が確認できない事が多い。
 - ②医療の選択肢が増えている。
 - ③家族の中で意見の統一ができていない。
- などによって、その方向性がすぐに定まらない事がまだまだ多いためです。

全ての人は必ず平等に「死」を迎えます。日本の平均年齢は女性でも86歳、みつぐ苑の平均年

齢は87歳です。ある保険会社によれば現在日本で最も死亡する方が多い年齢は90歳台だそうです。

「死」とは、日本では縁起でもない嫌煙されがちなテーマですが、全ての人が避ける事の出来ないテーマです。みつぐ苑では、以前からご家族にも、その時に備えて考えていただく事を個別にご提案しています。また、診療所でも、ご本人に直接意思を伺う機会を親しい患者さんから始めています。

自分や大切な家族の「最期」を考える事、それは「どう死ぬか」ではなく「最期まで自分らしくどう生きるか」を考える事ではないでしょうか。

2008年以降、特に厚生労働省でもこれらについての取り組みが具体的に始まっています。

今回、みつぐ苑でも、施設の関係者の皆さんに少しでも「最期の時」について、触れる機会を持っていただければ、これから様々な形で情報提供をしていきたいと思っております。

Vol.11

ザ

修 研

みつぐ苑 ＜研修委員会＞

ご利用者に安全かつ安心して過ごしていただくために、職員教育として毎月様々な研修を行っています。

6月 防災について

防災については、出水防災の馬場氏から現在の消防情勢についてお話をいただきました。

その後、職員はグループごとに分かれて施設内を回り、防災対策委員会から各所で防災設備についての説明を受けました。

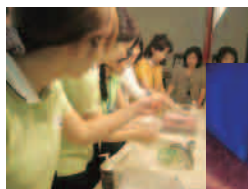
今回の研修で、その後の防火訓練での成果も表れ、また、日頃の防災意識もより高まったのではないかと思います。



7月 感染について

感染については、手洗いの際の洗い残しを見ることが出来る機械を使って研修を行いました。

感染を予防には、やはり手洗いの徹底が一番大事であることを職員一同再確認しました。



▲白い部分が洗い残し



白い部分が洗い残し▼



健康にイキイキと！ 健康教室

今回は右記の2ヶ所で開催させていただきました。

みつぐ苑・地域支援室では、老人会や様々な集まりでの＜健康教室開催＞を承っております。詳しくは、担当の本多・大塚までお気軽にご連絡下さい。

次回 開催予定地

- 8～9月(予定) 池亀町第10回健康教室
- 8/24(火) 小塚ほたる会第10回健康教室



4/19

鹿子木公民館いきいき健康サロン

初めての場所でしたが、たくさんのご参加ありがとうございました。

35名参加

第9回池亀町健康教室

体力測定お疲れ様でした。次回もお待ちしております。

14名参加



6/22



防火訓練 平成22年6月23日(水)

今年1月に起きた北海道のグループホームの火災で7名の方が犠牲になった事故は記憶に新しいことです。高齢者施設での火災事故は他にも発生しており、多くの犠牲を出し、その施設の設備が毎回問われているところではないでしょうか？

年2回の法定点検と合わせて行う防火、消火避難の訓練は、ご利用者様や職員の安全を守るべく実施されていますが、法定基準の建築であってもその中で暮らす人々の使い方次第では安全・安心を保てないことを常に思い考えるところです。

みつぐ苑グループ全体では6月23日に施設で出火した想定で、消火・避難訓練を行いました。

今回は地域の方々にもご協力をいただき初めて、施設側からの状況説明や助けを求める役の『伝令担当』2名を立て、参加120名での訓練を行いました。消火散水栓の使用や、実際の火を使った消火訓練など、日常使われない機器の使い方などを、新人職員を含めて職員全員参加の意識で取り組みました。秋には夜間想定で行う予定です。

地域への
伝令 ▼



◀安全・迅速に誘導

◀新人職員による消火訓練の様子▶



家族会 ～ 通所リハビリ家族会報告 ～

平成22年度 第1回通所リハビリテーション家族会を4月25日に開催いたしました。

今回は30名のご家族にご参加いただき、当苑における活動（マシントレーニング・脳活性化リハビリ）と、送迎時の取り組みのご紹介を行いました。

ご家族様の声やアンケートの回答から、「実際にリハビリを体験できてよかった」「本人がリハビリをしているところを見たい」

「介護している家族の心の持ち方やメンタル面の維持のアドバイスが欲しい」「介護者がダウンしない様に体力のつけ方のアドバイスが欲しい」などの、沢山のご意見をいただきました。これらのご意見を、今後の活動や家族会に活かして参りたいと思います。

お忙しい中、多数のご参加ありがとうございました。また秋にも家族会を開催予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



地域清掃



5/9 と 7/25 の日曜日の両日午前 8 時より、恒例の 21 町内清掃があり、みつぐ苑からボランティア活動の一環として述べ 5 名が参加しました。

両日とも、みつぐ苑周辺や上古閑橋から菅原神社境内まで地域の方々とお話を交えながら、草刈りやゴミ拾いを中心に行いました。地域の方からは「みつぐ苑の参加にとっても助かっています」とのお言葉をいただき、嬉しく思いました。

その後の公民館での交流会では、夏祭りのご案内などもさせていただき、有意義な活動となりました。

インタビュー



今回は・・・

西里校区民生委員・
児童委員協議会 会長
相良トシエ様



にお聞きしました。

みつぐ苑にはどんなイメージをお持ちですか？

青い屋根のスマートな建物の印象から「明るい施設」「都会的」と感じました。

実際、中に入ると職員の方々の気持ち良い挨拶と、忙しく動き回っていらっしゃる姿に「明るい施設」を実感しました。

夏まつりも楽しさいっぱいの企画で、準備されるのも大変だったことと思います。

みつぐ苑に今後期待すること、ご要望などをお聞かせ下さい。

開設されて 13 年、地域での認知度も随分高くなってきていると思います。

出前での健康講座を小塚地区だけでなく、西里校区全体に広げて行って欲しいと思います。

その為には、今以上に老人会や西里校区の自治会などの組織ともコンタクトを取りながら、地域の方々の健康作りを支援して下さることを願っております。

西里地区は医療機関が少ないので、「みつぐまち診療所」のこともっとアピールをしてもらえればと思います。

— ご協力ありがとうございました —

お知らせ

安全運転事業所表彰

平成 22 年度 熊本北地区安全運転管理者等協議会より優良事業所にみつぐ苑が選ばれたので、5 月 27 日（木）に熊本北警察署で行われました表彰式に出席してきました。

今回は、みつぐ苑の他に 3 事業者と、優良安全運転管理者として 3 名の表彰がありました。

みつぐ苑では現在 9 台の送迎車があり、安全運転には細心の注意を払っています。その努力が今回の表彰という形に結びついた事は大変名誉なことであり、今後も今まで以上に安全運転に心掛けていきたいと思っております。



賞状と楯をいただきました▼

編集後記

今回のみつぐ苑便りは、最大のイベントである「夏まつり」の様子を中心にお伝えしました。沢山の地域、ボランティア様に支えられ、夏祭りを盛り上げる事が出来ました。本当にありがとうございました。

■ 関連事業所 ■

- 通所リハビリテーションみつぐ苑
- グループホーム 茜
- 認知症対応型通所介護みつぐ苑
- みつぐまち診療所
- 居宅介護支援事業所みつぐ苑
- 津野田内科医院
- 訪問リハビリテーションみつぐ苑



医療法人 医誠会
介護老人保健施設

みつぐ苑

〒861-5535 熊本市真町135番地

☎ 096-323-6123

熊本田原坂線 崇城大学から車で約3分